**1.研究背景**

近年、「まちづくり」あるいは地域活性化のための「シンボルづくり」に励んでいる。そのうち、特に「聖地巡礼」についての事例を少し詳しく見て考察していきたい。

**2.問題意識**

「アニメの聖地」とされたコミュニティが、そのことをどのように受け入れる（あるいは受け入れず）、アニメのオタクたちとどのような関係を築く（あるいは築けない）のか、ということである。

**3.研究目的**

いわゆる「まちづくり」や「観光振興」のためのアニメ作品作用の成否そのもの（「賑わいの創出」や「経済効果」など）にあるのではないか。

**4.本考察の結果・観点**

「らき☆すた」を用いて地域経済が活性化になっているが、課題が多い。

**5.研究意義**

近い将来、この地域でより詳細な研究を行うための下準備として、資料や情報の収集・整理の結果を示す。

**6.学んだこと**

・受付容れる=>受け入れる

・鷲宮　わしのみや

・初詣　はつもうで

・自嘲　じちょう

・神輿　みこし

・神秘　しんぴ

・成否　せいひ

・フィクション　ノンフィクション

・メジャー　major

・便乗　びんじょう

・募る　つのる　越来越厉害　募って行う

・コミケ　漫展

・浮上　ふじょう

・それほど多くはないが、今後につながる可能性はある。

・このような機会を捉えて経済効果を高めたいという動きがある。

・美水镜（美水 かがみ）是一名日本男性漫画家、原画家，曾使用「水奈つかさ」的笔名。1977年10月7日出生于埼玉县幸手市。